



令和5年度国立三瓶青少年交流の家 体験活動普及啓発事業 開催要項

さんべで科学教室 理科読

1 趣旨

- 理科関係の絵本の読み語りや本の紹介を聞くことや、絵本にちなんだ実験をすることを通して、科学や読書活動に対する興味・関心を高める。
- 親子で一緒に活動することで、親子活動の楽しさを知る。
- 体験活動に興味・関心をもち、以降も体験活動をしたいという意欲をもつ。

2 主催

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立三瓶青少年交流の家

3 講師

NPO 法人ガリレオ工房理事 副理事長 土井美香子氏
絵本専門士2人

4 後援（申請予定）

島根県教育委員会、大田市教育委員会、美郷町教育委員会、飯南町教育委員会

5 協力（申請予定）

島根県立三瓶自然館サヒメル

6 期間

令和5年12月16日（土）～17日（日）＜1泊2日＞

7 会場

国立三瓶青少年交流の家

8 参加対象

主として小学校第3学年から中学校までの児童生徒とその家族

9 募集定員

20 家族 60 人程度（応募多数の場合は抽選）（最少催行人数：10 人）

10 内容・日程

テーマ「スイッチオンでピカッ」

	13:30	14:00	14:30	16:45	17:10	19:00	21:00	22:00	22:30	
12/16 (土)	入 所	受 付	オリエンテーション はじめの会	理科読① 絵本を絡めた実験・実演 「スイッチと回路」	休憩	夕食・入浴 夕飯のついで	理科読② 絵本を絡めた実験・実演 「鉱物（こうぶつ）ってなんだ？」 「星を見よう」 ※天候により変更の場合あり	休憩	就寝準備	就 寝

	6:30	7:00	7:40	8:40	9:30	11:30	12:00
12/17 (日)	起 床	宿泊室の清掃 朝のついで	朝食・休憩	退所点検	理科読③ 絵本を絡めた実験・実演 「いろいろな発電」	おわりの会	解 散

11 参加経費

大人3,110円（教材費1,200円含む。）、中学生3,110円（教材費1,200円含む。）、小学生3,020円（教材費1,200円含む。）、3歳以上の幼児1,500円、3歳未満の幼児220円。

※参加費には、食事代2食分、シーツ等洗濯料300円、保険代220円を含みます。

12 携行品

着替え、寝間着、タオル、洗面用具（シャンプー・せっけん・歯ブラシ等）、防寒着、健康保険証、**マスク（食堂利用時にできる限り着用をお願いします。）**、その他必要と思われる物（お風呂上がりにスリッパがあると便利です。）

13 申込み方法

交流の家ホームページの「Web 申込みフォーム」からお申し込みください。また、チラシの「申込書」に必要な事項を記入の上、FAX、メールや郵送で申し込むこともできます。

14 申込み締切り

令和5年12月3日（日） <15時必着>

15 その他

(1) 事前に交流の家 HP (<https://sanbe.niye.go.jp/>) の「安全で安心な研修活動等を実施するために（お願い）」をご確認ください。

(2) 食物アレルギーや、アナフィラキシー等の配慮が必要なときは、事前にお申し出ください。

(3) 個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

本事業で職員等が撮影した写真や映像、制作物、感想文等の著作物については、当機構の広報等に使用する目的で、報告書や刊行物、インターネット（ソーシャルメディアサービスを含む。）等に掲載することがあります。また、新聞社、雑誌社等が発行する刊行物に記事・写真を掲載することもあります。

なお、当機構がインターネット上に公開した肖像及び著作物について、本人や保護者から削除依頼を受けたときは速やかに削除します。ただし、印刷物等については対応できかねるので御了承ください。

(4) 本事業の参加をキャンセルするときは、**事業開催日初日の3日前の12月13日（水）15時までに**電話で連絡ください。

それ以降のキャンセルについては、キャンセル料として食事代金の30%を徴収します。キャンセル料は、本事業で当所（食堂）が提供する全ての食事が対象となります。キャンセル料の支払方法は、**現金書留のみ**とし、その際の発送料金等も負担いただくので、御了承ください。

<問い合わせ>

〒694-0002 島根県大田市山口町山口 1638-12

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立三瓶青少年交流の家

TEL (0854) 86-0319 FAX (0854) 86-0458

E-Mail : sanbe-suishin@niye.go.jp

担当 向原 将平・田村 徹平